

# TOGITSU

## 時津町のあゆみ

時津は、鎌倉幕府以前から大村藩に属していましたが、一時、有馬貞純に領されたこともありました。その後、明治政府の廃藩置県により、長崎県に属しました。明治5年には、時津村・西時津村・日並村の3村が合併して時津村となり、同年区制の実施により第15大区3小区に改められ、戸長が置かれました。明治12年7月郡制が施され、本町は西彼杵郡に属することになり、同22年4月1日町村制施行と同時に初代村長に菊地平一氏が就任しました。昭和26年12月1日に町制を施行して時津町と称し、第12代村長の横山貞雄氏が初代町長となりました。昭和34年1月15日、当時の村松村・子々川郷が編入され、昭和48年4月1日には横尾地区540世帯、2,049人が長崎市に編入されました。

町制施行後、昭和37年には都市計画区域の指定を受け、さらに昭和44年には新都市計画法により長崎都市計画区域に指定されました。このころから長崎市のベッドタウンとして人口が急激に増加はじめられました。また、昭和41年8月から昭和60年6月の19年間にわたって、時津港臨海工業地域として埋立事業を行い、工場誘致により中小企業の町としての性格も有するようになりました。

現在でも、平成2年川平有料道路の開通をはじめ、臨港道路整備、国道206号拡幅事業、同207号整備、長崎空港への高速船就航など、交通の要衝として発展し、人や物の交流が盛んな町になっています。



### 町章

昭和26年12月1日町制施行の際、募集決定したものです。右側の一部がきれた円形は大村湾を表し、逆三角形の先端が湾奥にある時津町の位置を指しています。また、全体の図形で時津町の頭文字「と」をかたどっています。



### 町木「くすの木」

くすの木は、親しみのある風情と、成木期には大木になるところから、青少年が威風堂々と成長するようにとの願いが込められています。  
(平成元年7月1日制定)

### 町花「コスモス」

コスモスは、手軽に育てられる美しい花です。花言葉「調和・秩序」にちなみ、町繁栄への願いが込められています。  
(平成元年7月1日制定)



### 「竹山広」歌碑

「斎藤茂吉短歌文学賞」をはじめ、権威ある数々の賞を受賞し、平成14年度に時津町民表彰特別賞を受賞された故竹山広氏の歌碑を、被爆70年の節目に建立しました。



**核兵器廃絶平和の町宣言碑**  
時津町は平成6年9月29日、「核兵器廃絶平和の町」を宣言しました。

## 芸能・まつり



イメージキャラクター「とっきー」

町花「コスモス」を持つ、「と」をベースにした元気な子どもをイメージしています。



● 銭太鼓浮立(左底郷)

諺早の千拓地で生まれた踊りが、本町の左底郷に伝わったといわれています。踊り手は紅白の「銭高」を持ち、銭の音を鳴らしながらねり歩きます。



● 黒丸踊り(野田郷)

大村の黒丸郷に伝わるものと同じ踊りです。昔、時津が大村の殿様の領地だったためといわれています。



● 浜田浮立(浜田郷)

江戸時代の終りごろ諺早から大村を経て、浜田郷に伝わった「雨乞いの踊り」といわれています。



● 志賀団七踊り(西時津郷)

昭和2年、佐賀県の宮原と三郎氏によって伝えられた「仇うちの場面を再現した踊り」です。



● 浦郷ペーロン(浦郷)

船首の反り上がった船と船頭が船を操る様子、初節句を迎える子どもを船上で披露するなど「伝統的なスタイル」を受け継ぐペーロンです。毎年6月初旬に行われます。



● 浦安の舞(子々川郷)

古式ゆかちの衣装を身につけた小学校高学年の女の子がおそかに「舞」を披露します。毎年11月、子々川郷・熊野神社の秋祭り(子々川くんち)で奉納されます。



● 元村龍踊り(元村郷)

平成元年、地元神社の新築落成を期に発定。地域とのふれあい活動を目的としてあり、元村秋まつりなどで披露されています。平成28年には「ねんりんどっく長崎2016」のオープニングセレモニーに出演しました。



● 日並三地区 コッコデショ(日並郷)

平成13年、日並三地区で地域とのふれあい活動を目的として「コッコデショ」保存会が発足し、平成15年日並郷・熊野神社で開催された日並秋まつりで、初の奉納どりを披露しました。



● 久留里よさこいソーラン(久留里郷)

平成23年1月に発定。ペーロンの力強いいかさばきを取り入れた踊りです。久留里歌会などで披露されています。



● 時津町ペーロン大会(時津港内)

昭和47年から始まった時津町ペーロン大会。現在も夏(7月)の一大イベントとして地区対抗で行われ、たくさんの人たちになぎわみます。



● とぎつ夏まつり

毎年8月下旬に開催。露店や農水産物販売、ステージ(7月)の一大イベントとして地区対抗で行われ、たくさんの人たちになぎわみます。



● とぎつふれあい産業まつり

毎年11月に開催。時津町内の店舗や特産品が大集合します。とぎつ新鮮野菜、大村海産物の販売が行われます。その他、みかんつかみどり、マグロの解体ショー、紙芝居やチャリリングなどのイベントもあり、家族みんなで楽しめます。

## 名勝・旧跡



【誕生日】 10月2日

○とぎつの「と」+「つ」  
○町内のコスモスから生まれた



● 継石坊主(元村郷)

別名「熊くさらかし岩」とも呼ばれる奇岩で、国道206号沿いの山の斜面に立っています。今にも落ちそうに見えるこの岩は、四季折々の表情を見せてくれます。  
(平成13年、町文化財指定)



● 茶屋(本陣)(元村郷)

その昔、時津街道を通る大名や幕府の役人たちが休息所として利用したお茶屋が、当時の面影そのままに残っています。  
(平成7年、門を町文化財に指定)



● 長崎番左衛門の墓(浜田郷)

長崎開港の祖といわれる長崎番左衛門純景(すみかげ)が寝たお時津の地に眠っています。  
(昭和41年、県文化財指定)



● 日本二十六聖人上陸記念碑(浦郷)

1597年、二十六聖人殉教の跡(旅から長崎までの途中、彼杵(彼杵村町)から海路を利用し、時津に上陸。一夜を過ごし、殉教地長崎へ向かいました。



● ともづな石(浦郷)

船をつないでいた石で、もとは浦郷中通りの道端にあります。昭和60年の区画整理で八幡神社の下に移転。昔、浦郷中通り付近も海岸であった証跡です。



● 隠れ岩(左底郷)

戦国時代に左底の谷をはさんでふたつの軍による戦いがあり、このとき、一方の軍が陣取った岩のこと「隠れ岩」と呼ぶようになったとされています。



● 塩釜大明神(左底郷)

昔、時津の地に塩田(海水から塩を取る砂田)がありましたが、ここで働いていた人たちが祭ったとされる大明神。塩田がここにあったことを伝えてくれる唯一の史跡です。



● 愛の地蔵(元村郷)

戦後間もない昭和22年に、乗客の命を守るため自らの体をブレーキとし、殉じたバスの車掌、鬼塚道男さん(当時21歳)の勇気をたたえて建てられました。



● 前島古墳群(子々川郷)

縄文・弥生・古墳と時代の異なる遺跡が複合している可能性が高く、長崎県内の本土部では数少ない古墳群です。

## 公共施設



【性格】

○天真爛漫で、元気いっぱい  
○楽しいことが好きで、イベント前夜は眠れない



● とぎつカナリーホール(野田郷)

芸術文化の振興を図る文化活動の拠点として、豊かな緑とやさしい光に囲まれたとぎつカナリーホールは、ここに集う人々に大きな感動を生み出します。



● 時津町民俗資料館(野田郷)

約1300年前の出土品、素環頭大刀、土器など、一品ごとに時津にかかわる歴史を感じる貴重な資料を数多く展示し、館内に時津町の茶屋本陣を復元しています。



● 時津中央子育て支援センター(児童館)(野田郷)

約1300年前の出土品、素環頭大刀、土器など、一品ごとに時津にかかわる歴史を感じる貴重な資料を数多く展示し、館内に時津町の茶屋本陣を復元しています。



● 時津なづみ子育て支援センター(児童館)(左底郷)

● 時津図書館(浦郷)  
● 時津町コスモス会館(浜田郷)  
● 時津町東部コミュニティセンター(浜田郷)  
● 時津町保健センター・子育て世代包括支援センター(元村郷)  
● 時津町総合福祉センター(左底郷)  
● 時津町地域包括支援センター(元村郷)  
● 時津町B&G海洋センター(日並郷)  
● とぎつ海と緑の運動公園(日並郷)



● 時津図書館(浦郷)

「住民に親しんでもらえる図書館」を目指して、一般読書室や児童読書室をはじめ、DVDやCDを楽しむ「AVコーナー」などが設置されています。



● 時津町コスモス会館(浜田郷)

スポーツおよびレクリエーションの普及や振興、文化活動などの推進を図るとともに、住民福祉の向上を目指してつくられました。



● 時津町東部コミュニティセンター(浜田郷)

● 時津町北部コミュニティセンター(日並郷)  
● 時津町総合福祉センター(左底郷)



● 時津町保健センター・子育て世代包括支援センター(元村郷)

● 時津町総合福祉センター(左底郷)  
● 時津町地域包括支援センター(元村郷)



● 時津町総合福祉センター(左底郷)

● 時津町地域包括支援センター(元村郷)  
● 時津町B&G海洋センター(日並郷)



● 時津町地域包括支援センター(元村郷)

高齢者の生活を地域でサポートするための拠点として、介護だけでなく、福祉、健康、医療などさまざまな分野から総合的に高齢者とその家族を支える機関です。



● 時津町B&G海洋センター(日並郷)

海洋性スポーツ・レクリエーションを中心に、子どもから高齢者まで町民の体力向上並びに健康増進を図り、たくましい精神と豊かな人間性を養うことを目的につくられた施設です。



● とぎつ海と緑の運動公園(日並郷)

各種スポーツやレクリエーションなどの振興を図るとともに、住民の健康や体力づくりを進めるためにつくられた公園です。



● 文化の森公園(元村郷・野田郷)

昔ばなしでも有名な「継石坊主(熊くさらかし岩)」を取り入れた町の中心部にある自然公園。そのほか、遊具広場や日本庭園、展望所などがあります。



● 崎野自然公園(西時津郷)

敷地内にキャンプ場や草スキー場、遊戯施設などを整備。新設されたコテージでは、風光明媚な大村湾を眺めながらバーベキューを楽しめます。



● 時津ウォーターフロント公園(浦郷)

遊具が整備されている子ども広場や芝生広場、西時津へとつながる遊歩道がある集いの広場です。また、芝生広場には1日4回メロディを奏でる時計塔もあります。



【好きな食べ物】

○時津まんじゅう、ぶどう(巨峰)、あまかん、びわ、なまこ



● 時津まんじゅう

時津といえば「まんじゅう」と言われるくらい、その風味と名は広く知られ、百数十年の伝統を有しています。皮とあんこのバランスが絶妙で、できたてのまんじゅうは、また格別です。



● 巨峰

甘味と酸味がほどよく含んだ本町の巨峰は格別です。本町のぶどう栽培は昭和36年から始まり、現在では、県内でも有数の産地規模を誇っています。8月中旬から9月中旬にかけて「巨峰祭り」を楽しむことができます。



● みかん

太陽の光りをたくさん浴びて育った本町のみかんは、全国の市場で高い評価を受けています。今後も優良品種を安定して出荷できる産地確保を目指しています。



● びわ

甘くて大粒で、きれいな玉の仕上がりが特徴です。ももや梨のふもとで、できりな玉の仕上がりは、主に関東地方へ出荷されます。



● 黒なまこ石鹸

大村湾漁船が2年の歳月を経て生み出した黒なまこの石鹸。水分の保持と肌の保護のためのバリアをつくる働きがある「セラミド」と生クリームのようなきめ細かい泡をつくる「サトウ」のダブル効果があるそうです。特に、乾燥しやすくなりやすい方におすすです。